

日本仏教社会福祉学会 ニュースレター

No.37 特別号

■ 令和6（2024）年1月15日 ■ 発行・編集 日本仏教社会福祉学会 事務局

CONTENTS

- ・ 令和6（2024）年能登半島地震 お見舞い
- ・ 事務局から

1: 2024（令和6）年度 日本仏教社会福祉学会第58回学術大会
ご案内

2: 第8回学会賞の推薦受け付けについて

3: 『日本仏教社会福祉学会年報』投稿論文の募集

4: 郵便料金等の値上げに伴う、メールの活用について

本年10月から郵便料金の値上げが予定されています。メールを活用し
発送費の軽減について検討しています。メール登録まだの方、事務局ま
でメールをいただければと思います。よろしくお願いいたします。

日本仏教社会福祉学会

発行日：令和6（2024）年1月15日

〒260-8701

千葉県千葉市中央区大蔵寺町200

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所

アジア仏教社会福祉学術交流センター内

日本仏教社会福祉学会事務局

TEL：043-265-9879（代）

FAX：043-265-7339

E-mail info.jabsws@gmail.com

日本仏教社会福祉学会 代表理事 藤森雄介

2024年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地
方を中心として発生した最大震度7の強い地震
により、尊い生命を奪われた方々、またご遺族
の方々に衷心より哀悼の意を表し、いまだ困難
な生活を強いられているすべての皆さまに改め
て心よりお見舞い申し上げます。

思い起こせば、令和4年（2022）年11月に宮
城県女川町で第56回大会を開催しました。その
時の大会テーマが「東日本大震災10年を越え
て」～地域と寺院の今後のあり方～でした。困
難の状態を過ごしている方々に対して、仏教社
会福祉の視点から私たちに課せられている役割
について継続的に取り組むことが必要ではない
かと考えております。

2024（令和6）年度 日本仏教社会福祉学会 第58回学術大会ご案内

～日本仏教社会福祉学会第58回大会in善通寺～
第58回大会は、学会として初めて四国での開催
となります。今回、団体会員であります、真言宗
善通寺派宗務庁様とのご縁を頂き総本山善通寺を
会場として第58回大会の開催にむけ準備に取り組
んでいるところです。大会開催に向け、総本山善
通寺様、真言宗善通寺派宗務庁様、学会事務局及
び担当理事役員で構成される「第58回日本仏教社
会福祉学会学術大会実行委員会」を組織し、大会
の準備運営にあたりたいと考えております。善き
大会となりますよう、関係する皆様のご参加をお
待ちしております。

～日本仏教社会福祉学会第58回大会in善通寺～

※昨年11月の同朋大学での総会で、本年11月開
催とご案内しておりましたが、善通寺様との調整
で9月の開催となりました。大会内容につきまし
ては改めてご案内させていただきます。ご参加お
待ちしております。

・ 大会日程

令和6（2024）年9月14日（土）～15日（日）

・ 会場 総本山善通寺（香川県善通寺市）

・ 大会内容（予定）

9月14日（土）

9:00 受付 9:30 物故者慰霊法要

10:00～12:00 記念講演および特別講演

12:00～13:00 昼食休憩および境内参拝

13:00～16:30 シンポジウム

基調講演（趣旨説明）

基調講演者及びシンポジスト

現在調整中

16:40～17:10 学会総会

17:30～20:00 懇親会（会員交流会）

9月15日（日）研究発表

8:30 受付 9:00～12:30 研究発表

・ 宿泊等について 善通寺境内にあります、「い
ろは会館」での宿泊が便利です。会員の皆様の宿
泊先として依頼しております。申し込み予約など
改めてご案内させていただきます。



第8回学会賞の推薦受け付けについて

現在、日本仏教社会福祉学会第8回学会賞の推薦を受け付けております。

推薦の対象は下記の要綱の通り、令和3（2021）年1月1日から令和5（2023）年12月31日までに発表された研究業績となっております。

会員の皆様方におかれましては、推薦に値する研究業績を発表している本学会会員のご推薦（自薦・他薦）をお願いいたします。

・ご推薦の期間及び推薦方法

1) ご推薦受付期間

締め切り期日 令和6年2月29日（木）必着

2) ご推薦方法

下記の項目を記入していただき、学会事務局宛に、郵便、メールなどで送付をお願いいたします。

①ご推薦会員のお名前（推薦者）

②ご推薦の研究業績の執筆者および研究業績
・研究業績の執筆者
・研究業績の題目

③ご推薦理由（400字以内）

3) 送付先

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町200
千葉キャンパス1号館(淑水記念館)3階
アジア国際社会福祉研究所
アジア仏教社会福祉学術交流センター
日本仏教社会福祉学会事務局

日本仏教社会福祉学会 第8回学会賞要綱

1 学会賞創設の意義と目的

創立40周年を契機に、仏教社会福祉研究の一層の発展を図るため、学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰、および若手研究者の研究奨励を目的とする日本仏教社会福祉学会学会賞を創設する。

2 学会賞の種類

創設の目的にてらし、学会賞は次の2種とする。

I 学術賞

学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰

II 奨励賞

学会員のうちで今後の研究の発展が期待される者の奨励

3 審査の対象

- ・令和3（2021）年1月1日から令和5（2023）年12月31日までに発表された研究業績を対象とする。
- ・学術賞については原則として刊行された著作物（単著・共著・編著等）を対象とする。
- ・奨励賞については著作物のみでなく、論文（共同執筆を含む）および共同研究成果物（報告書等）も対象とするが、共同執筆の場合は主著者であることを条件とする。
- ・対象となる論文は、共著の一部、学会誌、各大学の紀要、海外の専門誌などに掲載されたものとし、外国語のものを含むものとする。

日本仏教社会福祉学会 第8回学会賞要綱

4 審査の手続き

学会賞の審査のため、研究担当理事を含む数名で構成する審査委員会を置く。審査委員の任期は3年を1期とし、2期を越えないものとする。審査を円滑に行うため、自薦、他薦を含め、広く学会員からの推薦を募る。

5 授賞式

授賞式は令和6（2024）年度の学会総会において行う。

6 経費

各賞に贈る賞金額を含む必要経費については、学会財政の状況を勘案し、寄付を募るなど引き続き検討する。

7 その他

- ・当分の期間、学会賞の募集および審査・授賞は、3年毎の実施とする。
- ・この要綱に基づき、事業実施細目については、理事会において決定する。

（付記）

平成18年9月9日総会決定により発効。

平成20年9月5日修正案を総会決定により発効

※賞金額について：学術賞10万円、奨励賞5万円とする。

※第9回学会賞は、令和6（2024）年1月1日から令和8（2026）年12月31日を募集期間とし、令和9（2027）年に審査のうえ、各賞を決定する予定。

「日本仏教社会福祉学会年報」第55号の応募原稿提出期限のについて 令和6（2024）年3月末に延長しました

年報編集委員会より、表記の通り年報第55号の原稿応募の締め切り延長についての会員の皆様への周知依頼を受けました。

締め切り期間が延長になりましたのでよろしくお願い申し上げます。

『日本仏教社会福祉学会年報』投稿論文の募集

※投稿規定（抜粋）詳しくは年報の投稿規定をご確認ください。

- (1)本誌に発表する論文等は、未発表のものに限る。
- (2)投稿の種類は、研究論文・研究ノート・実践報告・海外情報・資料紹介・書評・その他とし、掲載ジャンルは編集委員会において決定する。
- (3)本誌の原稿枚数は、原則として研究論文20,000字以内、その他は16,000字以内とし、縦書き・横書きとする。
※投稿希望の会員は、事務局までご一報ください。宜しくお願い致します。